

御中

日本特殊塗料株式会社
九州工場 技術課

特殊変成アクリル樹脂水性形・薄膜タイプ (1液) 塗り床材
水性ユータック Si 標準施工仕様書
 【水性ユータック Si コーティング工法】

工 程	材 料 の 調 合	施 工 方 法	可 使 時 間 (23℃)	使 用 量 (kg/m ²)	施 工 間 隔 (23℃)
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ・レイタンスは、サンディングやポリッシャー掛け後に清掃し、きれいな素地にしてください。 ・素地の油脂、ゴミ、ほこりなどは、完全に除去してください。 ・素地の欠損部は、モルタル、樹脂モルタルなどで充填し、平滑にしてください。 ・施工時は、表面に水がなく、十分に乾燥していることを確認してから、次の工程に入ってください。 (高周波静電容量式水分計:ケット水分計 HI520 のコンクリートレンジの表示値 5%以下)				
下塗り	NT 水性カチオンプライマー 15kg (原液で使用)	ローラー 刷 毛	—	0.15	2 時間以上 72 時間以内
上塗り (1 回目)	水性ユータック Si 塗 料 16kg 水 0~1.6 kg	ローラー 刷 毛	—	0.15	2 時間以上 72 時間以内
上塗り (2 回目)	水性ユータック Si 塗 料 16kg 水 0~1.6 kg	ローラー 刷 毛	—	0.15	歩行可能 6 時間以上 養生期間 48 時間以上

注意事項

- ・施工にあたっては、カタログ及び、製品ラベルに記載の注意事項をよく読んでご使用ください。
- ・上記仕様に記載の数値は、標準的なものであり、素地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより、多少の幅が生じます。
- ・気温 5℃以下、湿度 80%以上での施工は避けてください。屋外施工では翌日までに、降雨、降雪が予想される場合の施工は避けてください。
- ・材料は直射日光を避け、室温 5℃以下、30℃以上にならない屋内で保管してください。
- ・できるだけ皮膚に触れないように取り扱っていただき、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋などの保護具を着用してください。
- ・換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- ・溶剤系塗料の場合は、引火性がありますので、取り扱いの際は火気に充分ご注意ください。
- ・材料の付着した布やウエスなどは、自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- ・多液型塗料の場合は、電動攪拌機で充分に攪拌し、硬化不良にならないようご注意ください。
- ・施工完了時、瓦前小口に塗料が溜まっていますと、雨漏りにつながる場合があります。縁切りを行ってください。
- ・NT 水性カチオンプライマーは、下地表面の状態により吸い込みが激しい場合は下塗りが 2 回になる場合があります。
- ・NT 水性カチオンプライマーと上塗りの塗料を混合しますと、ゲル化、ブツ発生などの原因となります。塗装の前には塗装器具を水で充分に洗浄してください。
- ・その他に関しては、カタログ記載の注意事項をご参照ください。